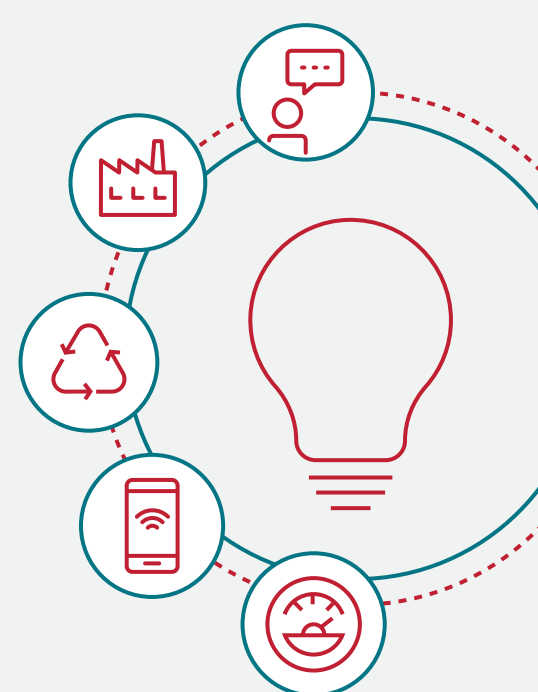


技術革新における主要トレンド

テクノロジー、消費者の需要、システム停止の脅威といった要素などにより、ビジネスにおける技術革新が加速する中、企業は技術革新を行う方法を再評価しています。今日の企業がどのように技術革新にアプローチしているかを理解するべく、ULは経営幹部や上級プロフェッショナルを対象に、その課題、能力、洞察に関する調査を実施しました。この調査に対する回答から、技術革新における次の5つの主要トレンドが確認されました。

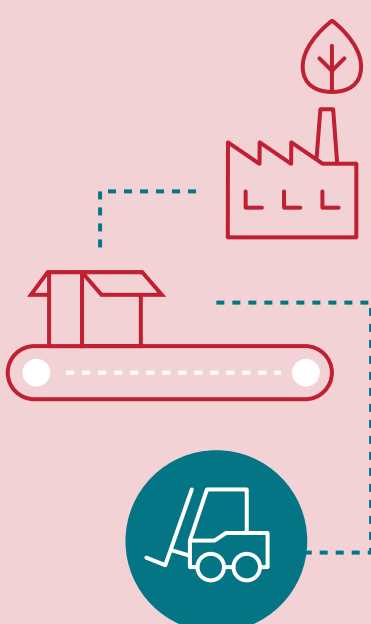


1 チャンネルパートナーよりも、顧客によって技術革新が促進されている。

調査回答者の45%が、顧客の期待度が技術革新の「重要な促進要因」であると回答したのに対し、技術革新の重要な促進要因としてチャンネルパートナーの期待度を挙げたのは12%、サプライチェーンの変動を挙げたのは8%に留まりました。

2 新しいテクノロジーの到来により、技術革新の見直しを余儀なくされる。

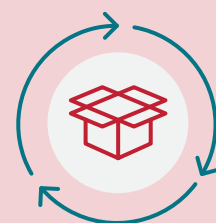
調査回答者は、テクノロジーによって、企業の技術革新へのアプローチが大きな変更を迫られる可能性があるとして回答しています。実際、回答者の66%が、人工知能や機械学習は技術革新へのアプローチに「多大な影響を及ぼす」または「完全な見直しを迫る」と考えています。同様に、回答者の60%はモノのインターネット (IoT) テクノロジーによっても同じ影響があると考えています。



3 大きな社会的変化により、企業はカスタマイズされた製品の開発が求められている。

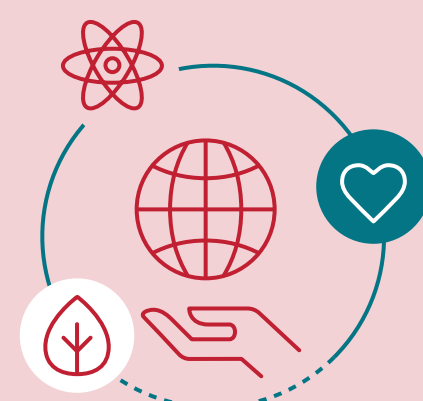
情報への瞬時のアクセスが可能になったことで、持続可能性、性能、パーソナライズに関するあらゆる基準に基づき、よりパーソナライズされた革新的な製品に対する消費者の期待度や需要が高まっています。このため、企業は新製品開発プロセスを短縮し、環境上の特性から、パッケージング、配送方法などに至るまで、製品のあらゆる側面について技術革新を行う必要に迫られています。

回答者の過半数 (52%) は、アジャイル方法論や高速加速寿命試験 (HAST) などの手法を使用することで、製品ライフサイクルが25%以上短縮されていると考えています。

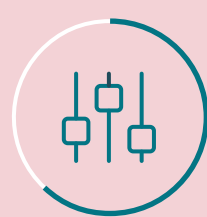


4 技術革新とは、単に新製品や新機能を指すものではない。

消費者の需要に基づき、新しい製品機能を越えた技術革新が製造者に求められています。回答者は、以下のような事項が消費者に最重視されており、技術革新の新しいアプローチを製造者に促していると考えています。



この社会的なトレンドが、技術革新へのアプローチに「多大な影響を及ぼす」または「完全な見直しを迫る」と回答した調査参加者の割合 (%)。



62%

より高レベルの製品カスタマイズの要望



60%

データプライバシー保護の要望



34%

シェアリングエコノミーへの移行



5 タイムフレームの短縮により、技術革新への圧力が增大する。

「新しいテクノロジーは具体的にどのように技術革新に影響を与えますか?」という自由回答形式の質問では、市場投入にかかる時間の短縮と、技術革新の高速化が最も一般的な回答でした。技術革新では、その速度を絶え間なく速める一方で、短縮された製品開発段階で、製品の安全性を確保しながら、規制に準拠する必要があるという安全面の懸念が指摘されています。